国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

令和７年１月３１日
東北地方整備局

入札監視委員会の審議概要を公表します
（第二部会 第２回定例会議）

令和６年１２月１７日（火）に東北地方整備局（港湾空港関係）において、「令和６年度入札監視委員会（第二部会第２回定例会議）」を開催しました。

審議概要について別紙のとおりお知らせします。

なお、今回の委員会では、事前に抽出された案件６件の審議を行い、意見の具申や勧告事項はありませんでした。

〔発表記者会〕宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

【問合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局（港湾空港関係）
仙台市青葉区本町３丁目３番１号
ＴＥＬ　０２２－７１６－００１３（直通）
経理調達課長　千葉（ちば）　哲哉（てつや）　（内線：６５５１）

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）　審議概要

<table>
<tr><td>開 催 日 及 び 場 所</td><td colspan="3">令和6年12月17日（火）　　東北地方整備局　会議室</td></tr>
<tr><td>委　　員</td><td colspan="3">部会長　　真田　昌行 【弁護士】
部会長代理　　河井　　正 【東北工業大学　工学部　教授】
委　　員　　坂本　直樹 【（国）山形大学　人文社会科学部　教授 】</td></tr>
<tr><td>審 議 対 象 期 間</td><td colspan="3">令 和 6 年 4 月 1 日　～　令 和 6 年 9 月 30 日
（上記期間に契約締結した案件を審議）</td></tr>
<tr><td>審　議　案　件</td><td colspan="3">総件数　6件　　（別紙－1　審議案件一覧のとおり）</td></tr>
<tr><td rowspan="7">工事</td><td>一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）</td><td>1件</td><td rowspan="8">（備考）
・審議に先立ち、次の(1)～(8)について、報告を行いました。
(1)工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況
(2)指名停止等の運用状況
(3)談合情報等の対応状況
(4)再度入札における一位不動状況
(5)低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況
(6)一者応札の発生状況
(7)不調・不落の発生状況
(8)高落札率の発生状況</td></tr>
<tr><td>一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）</td><td>2件</td></tr>
<tr><td>工事希望型競争入札</td><td>0件</td></tr>
<tr><td>指名競争入札</td><td>0件</td></tr>
<tr><td>随意契約</td><td>0件</td></tr>
<tr><td colspan="2">建設コンサルタント業務等</td><td>2件</td></tr>
<tr><td colspan="2">役務の提供等及び物品の製造等</td><td>1件</td></tr>
<tr><td>委員からの意見・質問、それに対する説明・回答</td><td colspan="3">別紙－2のとおり</td></tr>
<tr><td>委員会による意見の具申又は勧告の内容</td><td colspan="3">今回の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はありません。</td></tr>
</table>

別紙－１

審　議　案　件　一　覧

【工事】

入札方式	工　事　名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契　約締結日	契約の相手方	契　約金　額（単位：千円）	落札率（単位：％）	備　考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）	酒田港外港地区岸壁(-12m)築造工事	港湾土木工事	5者	5者	R6.7.16	五洋・りんかい日産特定建設工事共同企業体	1,874,611	92.01	酒田港湾事務所
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	八戸港八太郎・河原木地区航路泊地(埋没)付帯施設裏込外工事	港湾土木工事	1者	1者	R6.8.7	北日本海事興業(株)	203,500	98.25	八戸港湾・空港整備事務所
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	仙台塩釜港石巻港区雲雀野地区岸壁(-12m)本体工事	港湾土木工事	7者	5者	R6.7.18	東洋建設(株)	485,551	91.8	塩釜港湾・空港整備事務所

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業　務　名	業種区分	手続きへの参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契　約締結日	契約の相手方	契　約金　額（単位：千円）	落札率（単位：％）	備　考
一般競争入札方式	水中部施工状況確認業務	建設コンサルタント等	1者	1者	R6.4.1	(一社)日本潜水協会	43,450	99.72	港湾空港部
簡易公募型プロポーザル方式	管内技術課題に関する技術支援業務	建設コンサルタント等	1者	1者	R6.6.5	(一財)沿岸技術研究センター	41,910	99.87	仙台港湾空港技術調査事務所

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業　務　名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契　約締結日	契約の相手方	契　約金　額（単位：千円）	落札率（単位：％）	備　考
一般競争入札方式	海象観測装置定期点検・修理業務	役務の提供等	1者	1者	R6.6.10	(株)ソニック	126,280	99.59	仙台港湾空港技術調査事務所

別紙－２

１．報告	
意見・質問	説明・回答
・なし	

２．審議	
意見・質問	説明・回答
１　酒田港外港地区岸壁(-12m)築造工事	
・加算点の内訳を確認したところ、事業者の決定には、技術提案の評価点の影響が大きいものと思慮するが、決定した事業者の技術提案のどの部分を他者より優位に評価したのか。	・指定テーマの１つである「構造物撤去工の効率的な施工方策」に対して、当該事業者は、不可視である海中部分を可視化して施工する点、陸上工事と海中部分と並行して施工し工期短縮を図る点を評価しています。また、もう１つの指定テーマである「鋼管矢板打設時の施工管理方策」に対して、鋼管矢板打設時のズレや導材への荷重を修正する点を評価しています。
・工期の短縮が図られるという提案については、どの程度の短縮が図られる提案だったのか。	・標準的な提案では、海中部分の施工完了後に陸上工事を施工するというものでありましたが、当該事業者はこれを同時並行で施工するという提案であり、その点を評価しています。
・同時並行で施工することにより工期は短縮されるが、工事の品質には問題ないということで良いか。	・問題ありません。
・技術提案の中で、工事施工の効率化を図り工期短縮や工費を圧縮するという提案がなされた場合に、当該内容を評価した場合、価格面の評価と二重で評価しているように感じられる。技術提案はどのような観点で評価しているのか。	・技術提案には、標準的な施工方法を記載してもらい、それに対して各社がどのような視点で工夫して施工するかを記載してもらっています。各社のノウハウに応じて提案した内容について、より具体的な記載であれば評価することとしています。
・当該工事に参加可能な者の想定が、工事・調査実績情報システム（ＰＯＲＩＳ）の検索結果　79者と記載がある。一方で、今回の入札参加者5者の中には、共同体で参加している社が4者いるということだが、共同体であることを考えると79者のうち9者が今回の入札に参加したということで良いのか。	・そのとおりです。

意見・質問	説明・回答
2　八戸港八太郎・河原木地区航路泊地(埋没)付帯施設裏込外工事	
・１者応札かつ高落札率であったということだが、１者応札となった理由はなにか。	・入札説明書をダウンロードした者が３７者おり、そのうち競争参加資格要件を満たす者は受注者を含め４者おりました。受注者以外の３者に対してヒアリングを行ったところ、２者が「配置予定技術者が確保できなかった」との回答で、残りの１者が「当該工事の下請として契約したかったため資料確認のため入札説明書等を取得し入札への参加は見送った」との回答があり、結果として１者応札になったものです。
・人手不足で１者応札が避けられないこともあるかと思うが、複数者が参加できるように何か工夫している取組みはあるか。	・本件工事は、B等級対象工事であり、護岸の工事となっていますが、同種工事の実績として護岸の施工に加え岸壁の施工も認めることとして対象施設を広げています。また、同種工事の実績として本件工事については、施工数量は問わないこととして、さらに競争参加資格要件の緩和を図っています。
3　仙台塩釜港石巻港区雲雀野地区岸壁(-12m)本体工事	
・２者辞退しているが、辞退理由はなにか。	・２者いずれも「別件工事を落札したことにより配置予定技術者を配置することが出来なくなったため」と聞いております。

意見・質問	説明・回答
4　水中部施工状況確認業務	
・海中の施工状況を確認する業務と思われるが、実際に施工している事業者またはその関連業者の方が海中の施工状況を確認しやすいのではないか。そのような業者しか入札に入りづらいという状況にはなっていないのか。	・当該工事に従事している潜水士は、監督する立場で潜水調査を行っており、監督している潜水士に検査に係る潜水調査を行わせることはできません。本件業務により、中立的な立場の別の潜水士を派遣し潜水調査による検査を実施しています。
・１者応札となった理由として考えられるものはなにか。	・本業務は特殊な技術や経験を求めているものではありません。特別港湾潜水技士という資格を持つ潜水士を派遣してもらい水中部を確認してもらうものであり、今回受注した事業者以外でも特別港湾潜水技士の資格を持つ者を派遣可能であれば、受注可能です。 入札説明書をダウンロードした者に入札に参加しなかった理由をヒアリングしており、「技術者の確保が困難であった」、「手持ち業務との兼ね合いもあり社内検討の結果参加を見送った」という理由でした。
・１者であると品質の確保がきちんと出来ているのかも疑義が生じるが、技術提案に対する配点の満点30点に対して、19点程度というのは妥当なのか。	・評価については各評価者が評価した結果の平均点になっており、本業務の評価は他の業務と比較してもある程度高いものとなっています。
・89回という潜水調査の回数をもって発注すると当該協会しか応札できないということはないのか。仮に対象港ごとに分割して発注した場合は応札者が増えるということはないのか。	・本業務は、本局において東北管内の全ての港を対象に一括して発注しており、分割して発注した場合は経費が割高になり、不経済になります。
・予定価格はどのように決定しているのか。	・積算基準に基づき、潜水士の単価を使用して積算を行っています。また、旅費については、検査を行う港の近隣に派遣可能な潜水士がいるかどうか調査を行ったうえで、派遣する潜水士が決定されています。あくまで近隣の潜水士の所在地から旅費を積み上げしているので、仮に分割して発注をした場合であっても、旅費については積算額に差異は生じませんが、間接費については分割発注した場合は割高になります。

意見・質問	説明・回答
5　管内技術課題に関する技術支援業務	
・技術課題に関する検討業務ということで、なるべく多くの事業者から技術提案がなされ、競争性をもって事業者を決定するのが理想かと思うが、参加表明書の提出者が１者となっている。このような状況をどう考えているのか。他の業務でも同様に１者なのか。	・本業務は、委員会の設置・運営等を行い有識者からの意見を徴取するものであり、当該業務内容に対して事業者が敬遠したのではないかと思われます。なお、他の業務では複数者が参加表明を行っている案件もあります。
・本業務で納入される成果物は今後どのように活用されるのか。	・今年度に技術ビジョンを策定する予定になっており、当該成果についてはホームページで公表する予定となっています。
・参加表明した１者の技術提案に対して出来上がった成果よりは、複数の技術提案から決定した事業者が作成した成果の方が、より品質が高いものになると思うがいかがか。	・本業務においては、原案は受注者が作成していますが、委員会により有識者からの意見を徴取しながら作成を進めており、有識者及び当局とで検討を重ねた結果、最終的に策定されるものとなっています。
・応札金額か適正かどうかについては、契約後に見積の内訳を取得する等により確認しているのか。	・積算基準により予定価格を作成しているところであり、特記仕様書において積算基準に応じた項目数を記載したうえで、説明書には当局が予定している総価の予定金額を提示しています。事業者はそれらに基づいて積算を行っているものと思慮しています。

意見・質問	説明・回答
6　海象観測装置定期点検・修理業務	
・定期点検の頻度はどれくらいなのか。また、点検の度に発注しているものなのか。	・毎年定期点検の発注を行っていますが、機器によっては２年に１回の点検対象のものもあります。
・入札に参加可能な事業者数が17者と記載があるが、どういうことか。	・入札に参加可能な事業者については、海域における観測機器の保守点検等を実施した業務の過去の実績から検索して確認したものになっています。
・１者応札となった理由として考えられるものはなにか。	・入札に参加が可能な事業者に対してヒアリングを行ったところ、「技術者の確保が困難」、「社内検討の結果」という理由で入札参加を見送ったとのことです。
・本業務について、点検だけで考えると高額であるように見受けられるがいかがか。	・今回の定期点検・修理業務については、点検だけではなく一部機器の更新も含まれており、その分高額になっています。